



こ ばやし たか とら
小林 貴 虎

しみんくらぶ
市民クラブ

議案第69号津市一般会計補正予算について

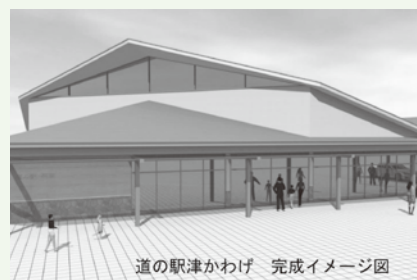
問 4億7,000万円ほど地方創生先行型の補助金が交付され、定住促進イメージ戦略としてプロモーションビデオを作成したり、U・I・Jターン促進のために予算がつけられている。過去5年間に5,000人ほどの人口が減少している中、定住者増は継続して取り組む必要のある課題であるが、到達数値目標を立てて取り組むのか。また、国の補助が切れても継続するのか。

答 イメージビデオの作成については、津市の魅力、津市に住んでみたい、津市に企業進出したいと感じてもらえるものを複数種類作成したいと考えている。U・I・Jターン助成制度については、市内企業への就職活動をする方への支援が目的であり、就職専門のポータルサイトへの情報掲載など、いろいろな方法での周知を検討していく。定住者促進の具体的な施策や数値目標等については、平成27年度に津市が策定する総合戦略や人口ビジョンの中で、明確にしていく。

また、これらの取り組みは継続することで意味があるものと考えており、平成27年度の取り組みの結果が、翌年度以降も継続していくべき事業であるという評価と成果を得られるように努力していく。

●その他の質疑・質問●

○津市道の駅津かわげの設置及び管理に関する条例について
○有志による津城復元のための募金活動がふるさと納税のシステムを使って1,100万円集まった。津市はいつ復元を決断するのか
○施政方針より「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
○農地転用の権限が移譲されることを受けて津インター前の開発をどう進めるのか など



道の駅津かわげ 完成イメージ図

▲指定管理者による適正管理が求められる道の駅津かわげ



とよ だ みつ はる
豊 田 光 治

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

国民健康保険料の1人1万円の引き下げを

問 いま国民健康保険料が住民の負担能力を超えて、家計に重くのしかかっている。国の新たな補助金などを使って1人1万円の引き下げを求める。また国保財政の改善のためにも健診率を一層高める手段をとり、病気の予防に努め、医療費の削減に具体的な手段をとれ。

答 国は、市町村国保の抜本的な財政基盤の強化のため、平成27年度から公費1,700億円を、29年度からは更に1,700億円を投入することで、1人当たり1万円の財政改善効果が見込まれるとしているが、津市として、これを保険料の引き下げに充てるということではなく、全体の国保会計の中で支援いただくものと理解している。

現在、津市では特に高血圧、高血糖、脂質異常の予防に努めており、検査値の高い人に対し医療機関受診勧奨の案内を送付し、受診していただけない方には訪問等を行っている。また、がん検診の市県民税非課税世帯の無料化や受診期間の延長などを行っており、今後も1人でも多くの方に受診していただけるように努めていく。

●その他の質疑・質問●

○施政方針について、合併後10年の検証を
○教育方針について
・教育委員会制度が変わる中、教育委員会の独立性・中立性を保て
○白塚・河芸漁港の海岸堤防整備について目標時期を明確に
○防災対策について、無人小型航空機の利用で津波対策、土石流監視などの研究を など



▲国保財政の改善のために健康診査の受診率向上を